⑼　外国語

ア　学習指導要領改訂の趣旨及び要点

㈠　改訂の趣旨

○　改訂の基本的な方向性は、次の２点である。

・　外国語による言語活動を通してコミュニケーションを図るために必要な「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力を更に育成することを目指して改善を図った。

・　「外国語を使って何ができるようになるか」を明確にするという観点から、小学校の学びとの接続を意識しながら各言語の目標として英語の目標を設定した。

㈡　改訂の要点

a　目標の改善

○　変更された点は、次の２点である。

・　「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を一体的に育成し、その過程を通して、「学びに向かう力、人間性等」に示す資質・能力を育成する。

・　小学校での学びを踏まえ、五つの領域の言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成するため、英語の目標を領域別に明確化した。

b　内容構成の改善

○　変更された点は、次の４点である。

・　「知識及び技能」として「英語の特徴やきまりに関する事項」を整理した。
（「外国語の言語材料」の学校段階別一覧表参照）

・　「思考力、判断力、表現力等」として「情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項」を整理した。

・　言語活動及び言語の働きに関する事項として、「知識及び技能」を活用して「思考力、判断力、表現力等」を身に付けるための具体的な言語活動、言語の働き等を整理した。（「外国語活動・外国語の言語活動の例」の学校段階別一覧表参照）

・　指導計画の作成と内容の取扱いにおいては、小学校や高等学校における指導との接続に留意しながら指導すべき留意点等を整理した。

c　学習内容・学習指導の改善・充実

○　新たに加えられた点は、次の４点である。

・　対話的な言語活動を一層重視する観点から、「話すこと［やり取り］」の領域を設定した。

・　取り扱う語数について、1200語程度の語から1600～1800語程度の語とした。

・　文、文構造及び文法事項について、「現在完了進行形」など数項目を追加した。

・　コミュニケーションを行う目的、場面、状況などを明確に設定し、言語活動を通して育成すべき資質・能力を明確に示すことにより、生徒が学習の見通しを立てたり、振り返ったりすることができるようにした。

○　従前の項目に加えられた点は、次の１点である。

・　言語材料は、平易なものから難しいものへと段階的に指導する。また、言葉の学びには、受容能力と発信能力があることに留意する。

○　従前と変わらない点は、主に次の７点である。

・　音声指導は、発音練習等を通して継続的に指導し、発音表記を用いて指導することもできることに留意する。また、発音と綴（つづ）りとを関連付けて指導する。

・　文字指導では、筆記体を指導することもできることに留意する。

・　関連ある文法事項はまとめて整理し、効果的な指導ができるよう工夫する。

・　文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導する。また、用語や用法の区別などの指導が中心とならないよう配慮し、語順や修飾関係などにおける日本語との違いに留意して指導する。

・　辞書の使い方に慣れ、活用できるようにする。

・　ペア・ワーク、 グループ・ワークなどの学習形態について適宜工夫する。

・　視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワークなどを有効活用する。

イ　指導計画作成のポイント

○　新たに加えられた点は、次の４点である。

・　生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにする。

・　生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、授業は英語で行うことを基本とする。

・　言語活動で扱う題材は、国語科や理科、音楽科など、他の教科等で学習したことを活用したり、学校行事で扱う内容と関連付けたりするなどの工夫をする。

・　障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行う。

○　従前と変わらない点、もしくは従前の項目に加えられた点は、主に次の５点である。

・　学年ごとの目標を適切に定め、３学年間を通じた目標の実現を図る。

・　五つの領域別の目標を踏まえた学習到達目標を設定する。

・　言語活動を行う際は、言語材料について理解したり練習したりするための指導を必要に応じて行う。また、小学校の学習内容を繰り返し指導し定着を図る。

・　ネイティブ・スピーカーや英語が堪能な地域人材などの協力を得る等、指導体制の充実を図るとともに、指導方法の工夫を行う。

・　道徳科などとの関連を考慮しながら、外国語科の特質に応じて適切な指導をする。